

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立美原総合スポーツセンター	
(2) 施設の設置目的	
市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ (コナミスポーツ株式会社、近鉄ファシリティーズ株式会社)	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">管理運営に関する業務(利用申込の受付等、堺市スポーツ施設情報システムに関すること、利用料金の收受、プログラムレッスンの実施、トレーニング機器の調達・管理、駐車場管理業務、人員の配置等、施設利用案内等、苦情・要望対応、その他使用料等の徴収)施設等の維持管理に関する業務(適正な維持管理、備品等の貸与及び購入、施設・備品等の保守点検業務、施設維持管理業務、施設及び備品の原状変更、現地調査の対応)自主事業(スポーツ教室の企画及び実施・その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業・センターへのアクセス及び利便性の向上を図る目的から指定管理者が提案し行うスポーツ振興業務)その他の業務(緊急時等への対応、施設内の目的に適したスペースの活用、統計資料等の作成、関係機関との連絡調整、堺市のスポーツ推進施策への協力、指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ、業務に必要な規則・マニュアル等の作成、堺市との協議)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	オーパス施設情報システム等により、特定の団体や個人に偏りがないよう管理運営を行った。年2回の自主防災訓練の実施、全従業員の心肺蘇生法(CPR&AED)ライセンス取得を行った。個人情報保護については、個人情報に関する理解度確認テストを定期的に行い、適正に管理した。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	各時間帯において、適正人数の配置を行うにあたり、安全研修・接客研修(ディスカッション)・防災訓練などを計画に基づき実施した。施設維持管理においても、構成企業の近鉄ファシリティーズ株式会社と連携し、法定点検及び自主点検を適正に実施した。
施設の設置目的に沿った事業の実施	利用者のニーズに応じたプログラム提供を行うにあたり、3か月毎に内容を見直し、月額料金登録キャンペーンを実施し、地域の方々が登録しやすい取り組みを継続中。また、利便性の向上として送迎バスを運行し、地域の方々に対して利用していただきやすい環境を提供している。
その他特筆すべき取組	新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について、令和2年度4月8日～5月22日まで全館臨時休館、5月23日～31日までプールと屋外施設のみ開館。6月1日～全館開館(利用制限あり)、1月15日～2月末まで時短営業の要請に対応した。

イ 市による状況分析

防災訓練や全従業員の心肺蘇生法ライセンス取得の実施等により、利用者が安全安心にスポーツを楽しめるよう努めている。ニーズに即した定期的なプログラムの見直しや利用登録キャンペーンにより利用促進を図った。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名	コナミスポーツクラブ・近鉄ビルサービスグループ	コナミスポーツクラブ・近鉄ビルサービスグループ	コナミスポーツ・近鉄ビルサービスグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ
利用者数(単位:人)	250,667	258,136	229,894	153,885	—
稼働率(単位:%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	—
利用者満足度(単位:%)	80.0	84.0	88.0	82.8	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、休館・営業時間短縮・利用制限の対応を行う中、より安心して利用頂けるよう徹底した感染防止対策を行った。
意見・苦情・要望等への対応	感染防止対策に伴う営業時間や利用制限に対する意見を多数頂戴する中ではあったが、施設ルールの変更、プログラム配置においては業界団体のガイドラインの範囲で最大限のプログラムを配置し、利用できる環境を整えた。
その他特筆すべき取組	令和2年4月8日～5月22日まで全館臨時休館、5月23日～31日までプールと屋外施設のみ開館。6月1日～全館開館(利用制限あり)、1月15日～2月末まで時短営業の要請に対応。

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数は過年度と比較し減少、利用者満足度も下がる結果となったが、除菌のためのオゾン発生装置の導入やスタジオの利用人数制限等による新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を徹底し、利用者の安全・安心の確保に努めた。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
指定管理者名		コナミスポーツ・ 近鉄ビルサー ビスグループ	コナミスポーツ・ 近鉄ビルサー ビスグループ	コナミスポーツ・ 近鉄ビルサー ビスグループ	コナミスポーツ・ 近鉄ファシリ ティーズグルー プ	コナミスポーツ・ 近鉄ファシリ ティーズグルー プ
収入	指定管理料	2,482,158	2,498,988	2,521,519	17,392,224	3,046,296
	利用料金	148,830,030	142,180,510	120,096,916	75,955,582	85,434,600
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	0	1,262,757	1,885,919	922,908	248,950
合 計		151,312,188	145,942,255	124,504,354	94,270,714	88,729,846
支出	人件費	49,155,825	54,031,358	51,168,441	49,121,704	51,628,000
	委託料	23,541,840	23,541,840	23,533,994	19,393,148	19,753,148
	総支出額に占める 委託料の割合	19.0%	18.5%	18.6%	16.2%	15.3%
	修繕費	3,347,313	3,552,161	2,665,073	2,643,410	4,036,296
	光熱水費	31,564,279	30,761,804	24,511,918	20,138,328	24,894,000
	その他	16,506,782	15,700,689	24,644,101	28,351,479	29,035,548
合 計		124,116,039	127,587,852	126,523,527	119,648,069	129,346,992
収支差額		27,196,149	18,354,403	-2,019,173	-25,377,355	-40,617,146
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収 入		34,039,356	31,796,460	23,163,665	21,011,885	32,148,479
支 出		36,586,006	32,455,144	24,582,910	21,093,736	34,968,358
収支差額		-2,546,650	-658,684	-1,419,245	-81,851	-2,819,879
(市への納付金の額)		0	0	0	100,000	100,000

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	空調や各居室の温度管理を行い、電気使用量の削減を実施。感染状況を加味し、チラシ等の販促タイミングをずらし広告費用の削減も実施。 指定管理料には市の休館等指示で還付した令和2年度の利用料金等相当分として市が支払った14,867,724円を含む。
------------	--

ウ 市による状況分析

市からの施設の休館及び開館時間の短縮の指示により、利用者数が前年度の約67%、利用料金収入が約63%となり、その中でも特に月額会員制の利用料金収入が前年度より約43,143千円減少したため、指定管理料を約14,868千円増額してもなお、収支差額が大幅なマイナスとなった。支出において、休館や開館時間短縮の影響に加え、適切な温度管理により光熱水費が減少した。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者満足度	80%以上	82.8%

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
施設利用者数 前年度比2%増(R元年度実績: 229,894人)	234,492人	153,885人
スポーツ教室事業参加者数 前年度比2%増(R元年度実績: 14,663人)	14,957人	14,128人

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入(前指定期間内の年度平均比1%増)	153,900千円以上	75,955,582円

イ 市による状況分析

・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底や利用者ニーズに即したプログラムの見直しにより、利用者満足度は目標水準を達成した。
 ・市からの指示による施設の休館が約2か月、開館時間の短縮が約1か月半生じ、また度重なる外出自粛要請の影響による利用キャンセルや退会の申し出を受け、利用者数や利用料金収入が大きく減少し、目標に届かなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	目標の達成状況については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館、営業時間短縮により、施設利用者数及び利用料金収入の目標を下回っているため、「C」に値するが、利用者満足度の実績も含め、管理運営については適正であると判断した。	新型コロナウイルス感染症の影響による休館や開館時間の短縮により、利用者数や利用料金収入の目標は未達となったが、利用者ニーズに即したプログラムの見直しや新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を徹底し、利用者の安全確保に努めたことにより、利用者満足度は目標を達成した。
今後の取組	現状、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対策を講じているが、スタッフによる換気や消毒の徹底など、より安心安全な施設運営を行い、利用者数の回復、利用料金収入増加に努める。	引き続き利用者の安全確保に努めるとともに、アンケートや利用者の要望からニーズを分析し、より質の高い接遇や利用者増加策を図りたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの

美原総合スポーツセンター 利用率

(単位：%)

施設名	区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
美原総合スポーツセンター 多目的グラウンド	平日	41.9	41.2	36.8	35.2
	土日祝	78.3	78.4	75.4	78.6
	計	54.4	53.8	50.7	49.6
美原総合スポーツセンター テニスコート	平日	65.0	66.4	62.1	57.5
	土日祝	95.7	96.1	93.6	85.5
	計	74.4	75.6	71.9	66.0